



平成 18 年 3 月 31 日

各 位

会 社 名 暁 飯 島 工 業 株 式 会 社
代 表 者 の 役 職 名 取 締 役 社 長 飯 島 康 輔
(J A S D A Q ・ コ ー ド 1 9 9 7)
問 い 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 統 括 部 長
役 職 ・ 氏 名 藤 沼 一 男
電 話 番 号 0 2 9 (2 4 4) 5 1 1 1

平成 18 年 8 月 期 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 17 年 10 月 14 日 付 当 社 「 平 成 17 年 8 月 期 決 算 短 信 (連 結) 」 及 び 同 日 付 当 社 「 平 成 17 年 8 月 期 個 別 財 務 諸 表 の 概 要 」 に て 発 表 いた した ま し た 、 平 成 18 年 8 月 期 (平 成 17 年 9 月 1 日 ~ 平 成 18 年 8 月 31 日) の 業 績 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 いた した ま す の で お 知 ら せ し ま す 。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 中間期 (平成 17 年 9 月 1 日 ~ 平成 18 年 2 月 28 日) (単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 予 想 (A)	4,700	0	150
今 回 予 想 (B)	4,300	70	210
増 減 額 (B - A)	400	70	60
増 減 率 (%)	8.5		
前中間期(平成 17 年 2 月 中間期)実績	5,261	45	65

(2) 通 期 (平成 17 年 9 月 1 日 ~ 平成 18 年 8 月 31 日) (単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	11,600	180	30
今 回 予 想 (B)	11,100	150	100
増 減 額 (B - A)	500	30	70
増 減 率 (%)	4.3	16.7	233.3
前期(平成 17 年 8 月 期)実績	11,262	95	71

2. 単独業績予想の修正

(1) 中間期 (平成 17 年 9 月 1 日 ~ 平成 18 年 2 月 28 日) (単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 予 想 (A)	4,700	0	150
今 回 予 想 (B)	4,300	60	200
増 減 額 (B - A)	400	60	50
増 減 率 (%)	8.5		
前中間期(平成 17 年 2 月 中間期)実績	5,235	55	74

(2) 通 期 (平成 17 年 9 月 1 日 ~ 平成 18 年 8 月 31 日) (単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	1 1 , 5 0 0	1 7 0	2 0
今 回 予 想 (B)	1 1 , 0 0 0	1 4 0	9 0
増 減 額 (B - A)	5 0 0	3 0	7 0
増 減 率 (%)	4 . 3	1 7 . 6	3 5 0 . 0
前 期 (平成 17 年 8 月 期) 実 績	1 1 , 1 9 8	7 9	5 9

3 . 修正の理由

(1) 連結業績

主に単独業績予想修正に伴う修正であります。

(2) 単独業績

当中間期の売上高は、受注高の減少並びに工事進捗の遅れ等により当初予想を下回る 43 億円 (予想比 4 億円の減少) となる見込みであります。損益面におきましても、上記理由による工事利益額の減少とともに工事利益率が当初計画を下回り、経常損益は当初予想を下回る 60 百万円の経常損失 (予想比 60 百万円の減少) となる見込みであります。最終損益も同様の理由により 2 億円の中間純損失 (予想比 50 百万円の減少) となる見込みであります。

4 . 通期業績の見通し

通期の連結業績見通しにつきましては、売上高 111 億円 (当初予想比 5 億円の減少)、経常利益 1 億 50 百万円 (当初予想比 30 百万円の減少) を見込んでおり、最終損益につきましては、下期に退職金制度の変更 (詳細につきましては、同日発表の「暁飯島工業 D C プラン」導入に関するお知らせをご参照下さい) を決定しており、それに伴う退職給付引当金の戻入益が発生する予定でありますので、当期純利益は 1 億円 (当初予想比 70 百万円の増加) となる見込みであります。

なお、期末の利益配当金につきましては、当初予想通り 1 株当たり 2 円を予定しております。

以上